

令和6年度会計決算報告

(収入の部)

1. 会費収入

会員会費：令和6年度に入金した会員数は641名、4,487,000円であった。

賛助会員会費：41社、820,000円であった。

2. 入会金収入

入会金：令和6年度に入金した会員数は22名、22,000円であった。

賛助会員：0名であった。

3. 事業収入

広告料：会誌広告12社で324,000円、学会広告11社で270,000円であった。

会場整理費：383,500円であった。

部門研修会参加費96,500円、地区研修会参加費33,000円、県学会参加費254,000円、精度管理報告会参加費0円であった。

精度管理事業費：精度管理参加費150,000円であった。

助成金：1,085,500円であった。

日臨技より生涯教育推進研修会助成金585,500円、全国「検査と健康展」への助成金500,000円であった。

4. 寄付金収入

寄付金はなかった。

5. 雑収入

預金利子：1,549円であった。

雑収入：日臨技議決権行使書回収委託費44,200円、定期総会（寸志）30,000円、学会雑収入15,300円であった。

6. 事務所維持、取得積立金収入：6,351,278円であった。

7. 前期繰越収支差額

令和5年度の繰越金は2,520,605円であった。

令和6年度の収入は1～6までの合計13,984,327円に繰越金を加え、16,504,932円となった。

(支出の部)

1. 事業費

1) 衛生思想の普及及び啓発

(1) 衛生思想普及啓発事業費：村山地区 30,090 円、庄内最上地区 98,618 円、置賜地区 70,708 円であった。

2) 臨床検査技術を通じ、保健事業、健康維持・増進事業への協力

- (1) 地域保健事業費：519,498 円で、主な経費は臨床検査展である。
- 3) 臨床検査の精度管理に関する調査・研究・解析
 - (1) 精度管理事業費：949,050 円で、主な経費は精度管理試料代と、報告会経費である。
- 4) 臨床検査に関する学術研究、研修及び広報活動
 - (1) 学術研究事業費：1,373,210 円で、主な経費は部門の研修活動費と学会費である。
 - (2) 生涯教育研修事業費：115,072 円で、主な経費はタスクシフト講習会である。
- 5) 機関誌及び会報の発行
 - (1) 会誌事業費：1,860,508 円で、山形医学検査の印刷費、編集委員会費用である。
- 6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

2. 管理費

管理費は 4,820,023 円を支出した。

給与手当費：事務員賃金である。

福利厚生費：慶弔費、見舞金である。

会議費：主な経費は定期総会関連費である。

通信費：郵送代やネット使用料である。

印刷費：主な経費は総会議案書印刷費である。

交通費：主な経費は理事会および各事業における交通費である。

顕彰費：県技師会表彰経費である。

広告宣伝費：新聞等による広告費である。

消耗品費：事務消耗品費である。

支払手数料：会計事務所顧問料、振込等に関わる手数料である。

雑費：会誌の発送費、他諸費用である。

- 3. 事務所維持、取得積立金支出：事務所維持会計へ 300,000 円出金した。
- 4. 備品購入積立支出：支出はなかった。
- 5. 予備費：支出はなかった。

以上により支出は 10,136,777 円となった。

当期収支差額は 3,847,550 円となった。

昨年度の繰越金は 2,520,605 円、次年度への繰越金は、6,368,155 円となる。